

が、SNS で大変な人気となっています。寒さに負けずに大変明るく、街の様子、まつ毛が凍った写真などをアップしています。この位の寒さで大騒ぎしていたら、彼女に笑われますね。



本日は、国際ロータリークラブ（RI）の情報をお伝えします。国際大会が6月23日～27日にカナダのトロントで開催されますが、本年度はその前に、RI 会長主催の平和会議が6回開催されます。これは特別な会議であり毎年開催されません。今年度は、イアン HS ライズリー会長の方針で開催されるのですが、その日程に驚かされます。

1回目 2/10 カナダ・バンクーバー、2回目 2/17 レバノン・ベイルート、3回目 2/24 英国・コベントリー、4回目 3/17 オーストラリア・シドニー、5回目 4/28 イタリア・タラント、6回目 6/2 米国・シカゴ、そしてその後は国際大会と続きます。

これは、本年度ロータリーの6つの重点項目と平和について話し合う会議です。特にライズリー会長は、1回目のテーマ「環境の持続可能性と平和について」を重視され、「これは私にとって大切なトピックであり、ロータリーで今後最も力を入れる分野だと考える」と言われています。

この環境問題については、私は日本の国がもう少し世界でイニシアティブをとってもいいのではないかと考えます。それまでも積極的にかかわってはきました。例えば、「持続可能な社会」という概念は、1987年の「環境と開発に関する世界委員会」の報告書で初めて紹介された言葉ですが、この委員会は日本の提案により設置されたそうです。また、2015年にパリ協定（COP21）が採択されましたが、これは1997年日本が主導した京都会議（COP3）の「京都議定書」が土台になっています。そして日本は省エネ技術も最先端をいきます。環境産業市場も2050年に2千兆円とも言われています。環境問題こそ、日本が世界で主導できる分野で

はないでしょうか。

本日の卓話は海匠健康福祉センター井元センター長のお話です。健康問題は我々にとって一番の関心事になっています。内容を楽しみにして会長挨拶といたします。

臨時理事会報告

1) 泉入会員所属委員会・カウンセラーの件
…承認

親睦活動委員会、カウンセラーは島田洋二郎会員に決定

幹事報告



1. 2018 学年度 世話クラブと
カウンセラー引受けのお願い
2. 米山記念奨学会財団設立 50 周年
記念誌 送付のご案内
…ガバナー事務所
3. 地区チーム研修セミナーのご案内・仮委嘱
状 …ガバナーエレクト事務所
4. 設立 50 周年記念誌拝受
…公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

【例会変更】

成田空港南 R C

2月8日(木)休会

15日(木)夜間移動例会 あづま庵

20日(火) I M 点鐘 13時30分 一宮館

22日(木)休会 (I Mの振替)

会員の記念日

☆結婚記念日

桜井 広和会員(1月21日)

上総 泰茂会員(1月24日)

☆創業記念日

宮内 龍雄会員(1月20日)

ニコニコBOX

◇金島 弘会員



20年ぶりに22日大相撲マス
席観戦してきました。雪で帰
りは5時間かかり
ました。



◇櫻井 公恵会員



来月2月8日(木)銚子市体育館にて弊社展示会を開催します。お時間がありましたらぜひおはこび下さい。お土産を用意してお待ちしております。

卓 話

「地域の健康の話題」
千葉県海匠健康福祉センター

センター長 井元 浩平様



今日お話しする最初のテーマは風邪やインフルエンザの予防の方法です。

今インフルエンザが猛威をふるっていますね。風邪やインフルエンザはどのように感染するのでしょうか。

患者さんがした咳を直接吸い込むことで感染する。それはそれで正しいのですが、もっと可能性の高い感染経路があります。それは指です。患者さんの咳の中に含まれるウィルスが手すりや机、椅子に落ちて(平均8時間生きている)、それを指ですくい取って鼻の粘膜にこすりつける、指を口でくわえることで感染する経路です。したがって鼻をこすらない、指をくわえない、ウィルスによっては目をこすらないことを実践していただくだけで風邪やインフルエンザになる可能性は格段に減ります。手洗いや手の消毒が勧められるのはそのためです。外出後やマスクを外した時は手洗いを忘れずに。また、鼻がかゆくなったらハンカチかティッシュを使ってください。

鼻をこすらない、指をくわえないことを実践しても毎年風邪をひいてしまう人がいます。鼻やのどの粘膜の極端に弱いこのような人は、風邪やインフルエンザの流行時期には外出時マスクをしましょう。鼻やのどが加湿されて、しか

も鼻をこすれないので効果的です。うがいは予防の効果はほとんどありません。予防注射も過信は禁物です。

次のテーマは胃がんのお話です。

この地域は胃がんの死亡者が男女とも高いのですが、胃がんは早く見つければ治る病気です。胃がんは、ほとんどがピロリ菌の感染と関係があるとされています。子供のころ不衛生な井戸水を飲むなどしてピロリ菌に感染し、それが中年以降に胃がんにつながるのです。ピロリ菌に感染していなければ胃がんになることは稀です。逆に、血液検査でピロリ菌に感染していることが分かれば、毎年胃がん検診(内視鏡検査がベスト)を受けて、がんを早期に発見する必要があります。ピロリ菌は胃潰瘍も起こすので、胃の調子が悪くてお医者さんにかかったら、それ以外の機会でもよいので、ピロリ菌の検査を医師にお願いしてください。1度でよいです。大人になってからのピロリ菌の感染では胃がんになることはないと言われています。子供のころの感染が胃がんの発症につながるので、今ピロリ菌抗体が陰性なら、将来たとえピロリ菌に汚染された水を飲んだとしても心配ないということです。

ピロリ菌の除菌治療は若年では胃がんの予防に効果がありますが、中年以降の除菌治療は効果があるという成績とそうでもないという成績があります。今検査をして抗体が陽性なら、除菌をしてもしなくてもは胃の定期検診をお勧めします。近いうちに血液で早期がんも分かる検査が実用化される可能性があり期待しております。

海匠地域は平均寿命が短いといわれています。寿命の足を引っばっている原因の一つが胃がんです。まずは皆さんやご家族、周囲の方が胃がんで亡くなることのないようにしていただきたいと思っております。



